

本日は、新型コロナウイルス感染症対策のため、出席される方々に、制限を設けさせていただきますました。また、歌はご静聴いただき、その他対策を講じての進行となっておりますが、皆様には、ご理解、ご協力を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。本日、出席の叶わなかったご家族の皆様にも思いを巡らせながら、式辞を読ませていただきます。

式辞

「山眠る」冬、木々が葉を落とし、寒々とした季節に耐え、新たな命が芽吹き、飯野山が微笑みかける「山笑ふ」春が巡ってきました。生命の息吹が感じられる今日の佳き日、香川県教育委員会事務局 香川県埋蔵文化財センター所長 高原 康 様、香川県議会議員 香川芳文 様、PTA 会長 紫和正則 様のご臨席を賜り、令和四年度香川県立飯山高等学校卒業証書並びに修了証書授与式を挙行できますことは、卒業生・修了生はもとより、教職員にとりまして大きな喜びであります。心より厚くお礼申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与いたしました総合学科一二三名、看護科二七名の皆さん、そして、専攻科看護科の課程を終え、修了証書を授与いたしました二七名の皆さん おめでとございます。今日に至るまでの皆さん一人ひとりの努力に、改めて拍手を送ります。

飯山高校の門をくぐり、今日に至るまで、皆さんはどのような景色を見ながら、どのような道歩んできたのでしょうか。景色の中には、大声で語り合う仲間の姿、手を携え臨む学校行事、部活動の大会やコンクールで仲間と抱き合って喜ぶ場面、さらには患者さんに寄り添う臨地実習など、本来なら数多く心に刻み込まれているはずの大切な風景がコロナ禍の下、すっぱりと抜け落ち、自分が進むべき道を照らしてくれる光さえも見失うことがあったかもしれません。しかし、今、皆さんの前には未来へと続く道が示されています。様々な困難の中にあっても、一歩ずつでも歩み続けて来たからこそ、今、ここに皆さんが立っているのだと思います。

さて、新型コロナウイルス感染症の罹患者が日本で初めて報告されてから三年、そして、ロシアのウクライナ侵攻から一年の歳月が流れました。最近では、北朝鮮によるミサイル発射が繰り返されています。この間、社会では新しい生活様式が取り入れられ、物価が高騰し、価値観にも変化が見られるようになりました。明日、何が起こるかわからないような現実社会を切り開いてゆくことには困難が伴うことでしょう。しかし、皆さんが飯山高校で過ごしてきた月日は、未知の課題に立ち向かい、試行錯誤を繰り返しながらも歩み続けて行く皆さんの指針となるに違いないと私は信じています。これからの社会を進めて行く皆さんに期待することを述べ、飯山高校を旅立つ日の饒の言葉とします。

「挑戦！一歩でも前へ！」

素直で人懐こい生徒が多い、明るい笑顔が溢れる飯山高校。他人に誇れる学校です。しかし、何かが足りない。「まず、やってみよう」という行動力。授業で、学校行事で、部活動で、様々な発表場面で、「私はいこうという性格だから」「経験がないから」「失敗するのが嫌だから」やってもいないのに、「自分にはできない」と決めつけて諦めている生徒を見かけます。決して手前味噌ではなく、皆さんは素晴らしい力を持っていると断言できます。皆さんが進む先には、様々な困難が待ち受けています。そこから逃げ出せば、一時的には目の前の困難からは逃れられるかもしれませんが。しかし、その困難は「壁」のまま存在し続け、その状況から得るものは何もありません。そして、また新たな「壁」が行く手を塞ぐだけです。逃げ出さず、一歩前に踏み出し、その「壁」を乗り越えようとすることで、その経験がきつと皆さんの次のステージにつながっていくはずですよ。心理学者であり、哲学者でもあるウィリアム・ジェームズは「われわれの持つ可能性に比べると、現実のわれわれは、まだその半分の完成度にも達していない。われわれは、肉体的・精神的資質の、ごく一部分しか活用していないのだ。」と述べています。自分の可能性を信じて、壁を乗り越え、一歩でも前に進もうと挑戦する人であって欲しいと思います。

「自分を信じ、一歩でも前へ」この姿勢が、予測不可能な、多様性に満ちた社会の中で、きつと皆さんの道標になってくれるでしょう。しっかりと心に留めておいてほしいと思います。

終わりに、思春期の心身ともに大きく変化する時期を、時に愛情深く、時に厳しく諭し支えてこられました保護者の皆様には、改めて、心よりお祝い申し上げます。おめでとございます。

そして、これまで本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたことに、厚くお礼を申し上げます。

さあ、卒業生、修了生の皆さん！皆さんの前には新たな道が広がっています。決して平坦な道ばかりではないかもしれませんが、また、思っても見ない風景が目の前に開けることもあるかもしれません。そんな時には、飯山高校にちよつと立ち寄ってみればいい。飯山高校には、皆さんが刻んできた歩みがあります。その時々 생각이刻まれています。それらが、きつと皆さんに元気を与えてくれるでしょう。皆さんが、進学先や就職先で夢をかなえること、そして、社会や地域から期待され、信頼される看護師となることを願うとともに、新たな道の先に、幸多からんことを心より祈念し、この晴れやかな旅立ちの日の式辞といたします。

令和五年三月三日

香川県立飯山高等学校 校長 大平 徹